

令和4年度事業報告

令和4年度においても、高齢者が年齢に変わりなく働き続けることができる「生涯現役社会」をめざし「自主・自立、共働・共助」の理念の下、事業の運営を行いました。この間、会員の真摯で誠実な就業姿勢は発注者から高く評価され、繰り返し受注につながっています。

事業実績では、会員の減少や高齢化が進んでいる中、センターとして効率的な受注を鑑み、受注件数は昨年度を273件下回る1,701件となっていますが、これは民間部門での草刈り作業等の依頼に対し、需要に応えられない案件が増加したためです。変わって契約金額では、公共部門での、ドラゴンカヌー大会やゆるキャラまつりなどの各種イベントの再開に伴い、4,342千円増額の120,610千円となりました。また登録会員は9人増の269人で会員増加とともに、就業人員も11人増の1,701人となっています。

主要な活動としましては、令和4年度は新型コロナウイルス感染症もやや落ち着き、県下シルバー人材センターの重要課題でもある就業中、就業途上中の「事故ゼロ」を目指し、会員への啓発や安全・適正就業委員会及び須崎・中土佐地区それぞれでの安全就業推進大会を開催し、安全就業への取組みを行いました。

また、長年使用していた須崎市桑田山チップ化作業場を閉鎖するとともに、須崎地区森林組合への枝葉等の搬入を行うこととしました。

おもな業務指標

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
登録会員	人 269	人 260	人 290
受注件数	件 1,701	件 1,974	件 1,970
就業人員	人 197	人 186	人 180
就業延人員	人 23,556	人 23,294	人 22,912
契約金額	千円 120,610	千円 116,268	千円 108,870
公共部門	千円 76,223	千円 69,854	千円 60,395
民間部門 (うち独自)	千円 44,387 (376)	千円 46,414 (415)	千円 48,476 (290)

活動記録

日 付	名 称	参加人員	内 容
令和4年4月27日	第1回理事会	15名	収支決算、総会議案
令和4年5月25日	第38回定時総会	本人 14名 書面 170名	事業報告・収支決算、 理事・監事選任、 事業計画・収支予算他
令和4年5月25日	第2回理事会	15名	理事長・副理事長・ 常務理事選任
令和4年8月10日	シルバーだより 会報 No. 24 発行	—	会員宛て送付
令和4年8月26日	第1回安全・適正 就業委員会	5名	事故防止対策検討
令和4年10月28日	須崎地区 シルバーの日 ボランティア活動	32名	多ノ郷駅南ロータリー 除草・清掃活動
令和4年10月31日	中土佐地区 シルバーの日 ボランティア活動	18名	中土佐町民交流会館周辺 除草・清掃活動
令和4年11月16日	須崎地区 安全適正就業 推進大会	28名	研修及び 須崎八幡宮安全祈願
令和4年11月18日	中土佐地区 安全適正就業 推進大会	18名	久礼八幡宮安全祈願 及び研修
令和4年11月25日	第3回理事会	12名	津野町参入協議、 規約改正、予算編成方針、 収支補正予算他
令和5年1月10日	安全就業 ニュース発行	—	安全就業について他
令和5年1月30日	第2回安全・適正 就業委員会	6名	事故防止対策検討及び 安全就業パトロール
令和5年3月17日	第3回理事会	12名	規約改正、 事業計画・収支予算、 定時総会、補正予算

個別事業実績

(1) 就業機会の開拓と提供

ドラゴンカヌー大会やゆるキャラまつりなどの各種イベントの再開により就業機会の提供は増加しましたが、草刈り作業等の依頼に対し、需要に応えられない状況が増加しています。これより、当年度の契約金額は120,610千円で、前年度対比103.7%、金額にして4,342千円の増額となりました。

派遣事業では、2,416千円の実績で前年度対比94.1%、派遣人日は1,033人日で、131人日の減少となりました。

(2) 安全就業意識の向上と事故防止

事故ゼロを目指し、安全・適正就業委員会を中心に安全防具の着用、機械器具類の点検整備等の指導や安全就業パトロールを行い、事故減少に努めました。

また須崎・中土佐地区それぞれでの安全就業推進大会を開催しました。

(3) 就業に関する知識と技術の向上

県連合会が開催する庭木剪定講習などの無料講習会についてお知らせするとともに、様々な県内外の研修会・講習会に参加をしました。

(4) 事業の普及啓発

シルバー事業の理解と周知を図るため、シルバー人材センター事業普及促進月間である10月に須崎市・中土佐町広報にシルバー人材センターについて掲載するとともに、須崎地区では多ノ郷駅南ロータリー、中土佐地区では町民交流会館周辺の草刈・清掃作業のボランティア活動を実施しました。

(5) 会員の確保とセンターの強化

入会説明会を須崎では毎月1回、中土佐では随時実施して会員確保に努めました。年度末における会員数は、269名（男性196名、女性73名）となっており、このうち新入会員は24名（男性16名、女性8人）で60歳代及び女性会員の新規確保が課題となっています。また、シルバー事業の周知、PRの為、シルバー人材センター月刊誌を須崎市・中土佐町の公的施設へ置いています。

(7) ICT（情報通信技術）の活用等の実施

シルバー事業をサポートするエイジレス80のシステム活用を図るとともに、中土佐事務所にも導入を行いました。